

# 情報公開文書

研究課題名	乳房部分切除症例における術中標本マンモグラフィと病理標本での切除断端の検討
所属(診療科等)	長崎みなとメディカルセンター 乳腺・内分泌外科
研究責任者(職名)	赤司 桃子(医長)
研究期間	承認日～2027年3月31日
研究目的と意義	乳房部分切除術を行った患者さんについて、腫瘍と切除断端の距離を、術中標本マンモグラフィと術後病理標本を用いて検討します。本検討により、身体の病変が腫瘍であるか否か、また転移や病変の取り残しがないのかといったことについて、術中標本マンモグラフィを使った切除要否判定が、病理診断結果と比べて簡易かつ迅速に施行できるのか検証します。
研究内容	<b>●対象となる患者さん</b>
	乳癌と診断された患者さんで、当院にて2021年4月1日～2026年3月31日の間に乳房部分切除術と術中標本マンモグラフィ検査を受けた患者さん。
	<b>●利用する情報</b>
	診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果(血液検査、画像検査、病理検査)
研究内容	<b>●研究方法</b>
	上記の情報をカルテより収集し、腫瘍と切除断端の距離について検討します。
問い合わせ先	所属：長崎みなとメディカルセンター 研究開発センター 住所：長崎市新地町6番39号 電話：095(822)3251 受付時間：月～金 9:00～17:00(土日祝日を除く)